

トピックス

香港でのトリ型インフルエンザウイルス (A 型 H5N1) 感染による死亡例

(平成 15 年 2 月 26 日現在)

2 月 20 日付の WHO 報告によると、中国の福建省に旅行した香港在住の 1 家族 4 名 (父親、母親、女兒、及び男児) がインフルエンザに罹り、父親と女兒が死亡、また、父親と男児から 1997 年に香港で死亡者 (患者 18 名中 6 名が死亡) を出したトリ型のインフルエンザウイルス (A 型 H5N1) が検出されました。その後、母親と男児は快方に向かっています。



現在のところ、今回検出されたウイルスも 97 年に香港で検出されたウイルスと同じトリ型と報告されています。通常、トリ型のウイルスはトリからヒトへは感染しないといわれており、H5N1 ウイルスで死んだトリの死骸や糞便等に直接接触したり、その埃を吸い込んだりしなければ感染する可能性は低いと考えられています。また、今回この家族以外からの検出報告もなく、香港でのインフルエンザ報告数の異常な増加は認められていません。

詳しい状況等は現在調査中との事ですが、念のため香港を含め中国南部等へ海外旅行される方は人混みを避け、マスク、ウガイや手洗いなどで予防をしてください。

なお、平成 15 年 2 月 21 日現在、全国的には A 香港型 (H3N2) と B 型インフルエンザウイルスのみが検出されており、A ソ連型 (H1N1) 及びそれ以外の型のインフルエンザウイルスは検出されていません。また、これらウイルスの検出件数は愛知県 (名古屋市を除く) で A 香港型 (H3N2) インフルエンザウイルス 113 株、B 型インフルエンザウイルス 4 株が検出されており、全国では A 香港型 (H3N2) 2, 851 株、B 型 453 株が検出されています。

流行状況

インフルエンザ

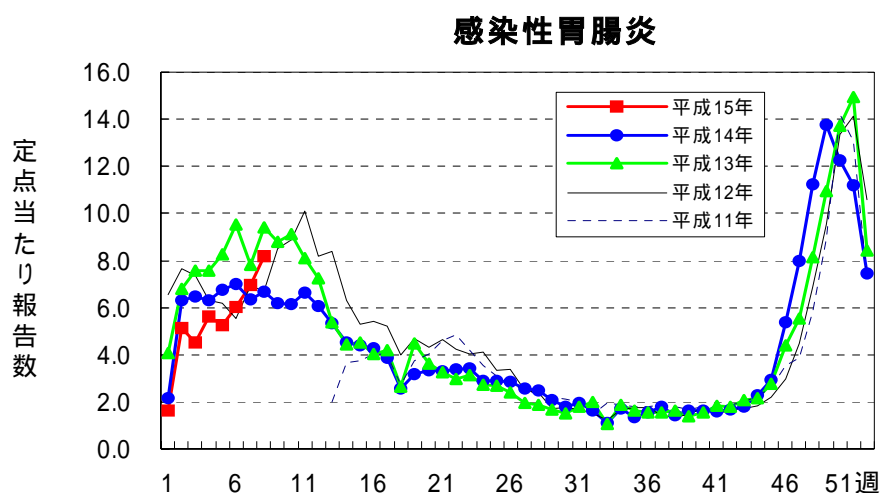
定点当たりの報告数は 7.7（前週 16.0）と**更に減少**しています。

定点の先生方からのコメントでは、インフルエンザ B 型が散見されます。

インフルエンザの予防には手洗いやうがい、十分な栄養と休養が大切です。また、早期にインフルエンザウイルス薬を使用することによって多くの場合治療可能ですので、もし、インフルエンザを発病したことが疑われる場合（具体的には突然の上気道炎症状、38 を越える高熱、全身倦怠感等の全身症状等）には、早目に医療機関を受診されることをお勧めします。

感染性胃腸炎

定点当たりの報告数は 8.2（前週 7.0）と**更に増加**



感染症についての説明及びグラフ総覧については、
愛知県衛生研究所のホームページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>)

厚生労働省インフルエンザ対策キャンペーンホームページ

インフルエンザ Q & A、キャンペーンポスターなどがダウンロードできます。

<http://influenza-mhlw.sfc.wide.ad.jp/>



インフルエンザウイルスの検出状況

(平成 15 年 2 月 26 日現在)

平成 15 年 2 月 26 日現在、感染発生動向調査の目的で愛知県内（名古屋市を除く）の医療機関等から県衛生研究所に搬入された 114 検体から A 香港型 (H3N2) インフルエンザウイルス 86 株、B 型インフルエンザウイルス 4 株が検出されています。集団発生については、豊橋、豊田両中核市を含む県内全域の 7 施設から 67 検体が搬入され 27 株の A 香港型インフルエンザウイルス株が検出されています。抗原性は A 香港型についてはすべて今冬（2002/2003 シーズン）のワクチン株と類似していました。B 型の 4 株のうち 3 株は、今冬のワクチン株と類似しており、昨冬（2001/2002 シーズン）大きな流行を起こしたビクトリア系統でしたが、1 株はワクチン株とは異なる山形系統でした。この B 型山形系統のウイルスは過去幾度か大きな流行を起こしていることから、多くの人が免疫を持っており今後流行は拡大しないと考えられます。また、公表されている最新のデータである平成 15 年 2 月 21 日現在の資料では、全国で A 香港型 2, 851 株、B 型 453 株が検出されていますが、A ソ連型 (H1N1) 及びそれ以外の報告はまだありません。

インフルエンザウイルス分離状況からは、A 香港型が流行の主流を占めていたと考えられます。また散発的に分離された B 型は今後大きな流行を起こす事はないと予想されます。しかし過去のシーズンにおいては、春先にかけて局地的な小流行を起こした事例もありますので注意して下さい。

インフルエンザウイルス検出状況(名古屋市を除く)

発生動向調査	11月	12月	1月	2月	合計
検 体 数	4	40	66	4	114
A 香 港 型	1株	30株	54株	1株	86株
B 型			3株	1株	4株

集団発生	1月	合計
検 体 数	67	67
A 香 港 型	27株	27株

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

病原性大腸菌 O1 8 歳男、14 歳女、59 歳女
病原性大腸菌 O18 33 歳女、45 歳女
病原性大腸菌 O25 3 歳男、10 歳女
病原性大腸菌 O111 3 歳男
黄色ブドウ球菌 2 歳男、3 歳男
最近病原性大腸菌感染者が増加しており、特に O1、O18、O25 は頻繁に見られます。

E B ウイルス 9 歳女

【尾西市 城後小児科】

インフルエンザ A 型 3 名

【一宮市 後藤小児科医院】

インフルエンザの減少とともに感染性腸炎急増
ムンプス、水痘、小流行あり。

【一宮市 あさのこどもクリニック】

4 歳男インフルエンザ B（1 月には A 型罹患）

【一宮市 平谷小児科】

インフルエンザ B 型（11 ヶ月男、35 歳男親子）

【犬山市 武内医院】

感染症胃腸炎の流行が続いています。A 群溶連菌感染症が 5 名ありました。
インフルエンザは激減しています。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

インフルエンザ 17 例、うち、B 型 6 例と少し B 型が多くなっています。
インフルエンザ 17 例中ワクチン接種者 4 名
胃腸炎も多くなっています。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

1 歳 1 ヶ月女、7 ヶ月男、1 歳女、2 歳 2 ヶ月男ロタウイルス(+)でした。

【春日町 丹羽医院】

マイコプラズマ 12 歳男、38 歳女

【師勝町 師勝クリニック】

B 型インフルエンザ 4 名

マイコプラズマ肺炎 10 歳女、24 歳女

【師勝町 田中クリニック】

尾張東部地区

インフルエンザはなくなりましたが、ロタウイルス感染を含む感染性胃腸炎が増加しています。

病原性大腸菌 O25 19歳女

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

インフルエンザ減少（ほとんど A 型、B 型はわずか）

今週は水痘が増加しました。溶連菌感染症も流行中

その他、流行性耳下腺炎、突発疹散発

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

インフルエンザ減少

今週再び胃腸かぜ増加。水痘少々あります。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

インフルエンザも下火になってまいりましたが、今週は A 抗原 (+) 4 名、B 抗原 (+) 3 名ありました。

【春日井市 かちがわ北病院】

インフルエンザは終了したという印象です。

【春日井市 竹内医院】

インフルエンザ激減。ロタウイルス胃腸炎の入院多し。

細気管支炎もやや増加している。

【小牧市 小牧市民病院】

ロタウイルス腸炎が目立ちます。インフルエンザはほぼ終息でしょうか。

【小牧市 志水こどもクリニック】

感染性胃腸炎が多いです。

【半田市 医療法人林医院】

便アデノ 1 歳女、RS 1 ヶ月女

【東海市 東海市民病院】

ロタウイルスによる腸炎流行中です。

【東海市 小児科ハヤカワ医院】

インフルエンザ A・B 共陽性 2 例あり

【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

病原大腸菌 O25 11 歳男

カンピロバクター腸炎 4 歳男

カンピロバクター、病原大腸菌 O1 1 歳女

ロタウイルス腸炎 2 歳男、3 歳女

マイコプラズマ感染症 4 歳男

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

インフルエンザ A 型 5 人

インフルエンザ B 型 3 人

【豊田市 田中小児科医院】

インフルエンザ B 型 3 歳女、4 歳男、4 歳女

ロタウイルス流行中

【豊田市 医療法人やふそ小児科】

インフルエンザ B 型 1 名

【豊田市 わかぞの東洋クリニック】

ロタウイルス 1 歳女、3 歳女、6 歳女

病原性大腸菌 O25 2 歳男

【岡崎市 医療法人深田小児科】

病原大腸菌 O18 10 歳女

【岡崎市 花田こどもクリニック】

B 型インフルエンザ 6 名

カンピロバクター 11 歳男

【岡崎市 にいのみ小児科】

B 型インフルエンザ 1 名、あとは A 型

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

インフルエンザ A 型 2 名 インフル A B クイック A (+)

インフルエンザ B 型 2 名 インフル A B クイック B (+)

【岡崎市 永坂内科医院】

インフルエンザ A 型 5 名、B 型 3 名

【岡崎市 村山医院】

感染性胃腸炎が目立ちます。

【碧南市 永井小児クリニック】

インフルエンザ B 型 2 名
乳児嘔吐下痢症が増加

【西尾市 やすい小児科】

ロタウイルスと思われる胃腸炎が目立ちました。
インフルエンザは激減、A 型 6 人

【西尾市 山岸クリニック】

4 歳女 病原性大腸菌 O1 V T (-)
ロタウイルス (+) 1 歳男
カンピロバクター 11 歳男

【幸田町 とみた小児科】

マイコプラズマ肺炎 4 歳男
インフルエンザがほとんどみられなくなりました。

【三好町 三好町民病院】

溶連菌で入院要ありました (4 歳男) 。
ロタウイルス散見します。

【三好町 三好丘こどもクリニック】

東三河地区

水痘流行中です。咽頭結膜熱が増えています。

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

異型麻疹 1 歳男

【豊橋市 豊橋市民病院】

ロタウイルス腸炎及び感染性胃腸炎が目立つ。

【田原町 かわせ小児科】

1 ～ 3 類感染症の発生状況 (愛知県)

発生報告なし

全数把握の 4 類感染症の発生状況 (愛知県)

アメーバ赤痢 1 例

第6週(15年2月3日~2月9日)の4類感染症（全国）

定点当たり報告数が過去 5 年間の同時期と比べて特別多い疾患はなかった。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は再び増加し、福岡県（18.1）をはじめ 15 都道府県から 10.0 以上の報告があった。水痘の定点当たり報告数は沖縄県（5.0）、福岡県（3.2）、佐賀県（3.1）などが多い。急性出血性結膜炎の定点当たり報告数は微増し、長崎県（0.9）からの報告が多い。成人麻疹の報告が神奈川県（0.5）をはじめ関東甲信越地域で増えた。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は大きな変化はないが、都道府県別では秋田県（0.6）からの報告が引き続き多く、佐賀県（前週の 0.1 から 0.5）、愛媛県（0.1 から 0.3）からの報告が増加した。インフルエンザの定点当たり報告数は、2 週連続で減少している。依然としてすべての都道府県で定点当たり報告数は 2 桁であるが、ほとんどの都道府県で前週より減少し、50 を超えた都道府県はなかった。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少したが、依然として富山県（3.3）と山形県（3.0）からの報告が多い。流行性角結膜炎の定点当たり報告数は全体としては減少しているが、高知県（前週の 0.7 から 3.0）で急増し、宮崎県（3.0）とともに多い。急性脳炎（日本脳炎を除く）の報告数は減少したが、沖縄県（0.4）が前週同様に大半を占めている。風疹は報告数が半減（45 報告から 21 報告）した。

（ Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センタ - 感染症情報室提供 ）

詳細は感染症情報センタ - のホ - ムペ - ジ（ <http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html> ）の感染症発生動向調査週報をご覧ください。

2003年第8週 (平成15年2月17日～2月23日)

愛知県衛生研究所

[illegible]

2003年第8週 (平成15年2月17日～2月23日)

年齢階層 (名古屋市を除く)	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹
計	1,118	12	156	1,021	272	8	16	95	0	0	1	1	74	0	6	0	0	0	3	0	0
～6ヶ月	19			15	8			4								/	/	/	/	/	/
～12ヶ月	37		1	73	10			61					1			/	/	/	/	/	/
0歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
1歳	112	3	3	181	45	1	1	29			1	1	5								
2歳	103	2	12	111	46	3	2	1					6								
3歳	95	2	14	115	38		3						11								
4歳	100	2	36	92	54	2	2						12								
5歳	85	1	30	76	40		5						16				/	/	/	/	/
6歳	37	2	27	51	15	1	1						8				/	/	/	/	/
7歳	51		8	50	8								2				/	/	/	/	/
8歳	34		6	39	2		2						5				/	/	/	/	/
9歳	25		6	33	1												/	/	/	/	/
5歳～9歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
10歳～14歳	84		11	52	4								1						2		
15歳～19歳	53		1	18															1		
20歳～	/		1	115	1	1							7		/			/	/	/	/
20歳～29歳	80	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		2	/	/	/	/	/	/
30歳～39歳	89	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		1	/	/	/	/	/	/
40歳～49歳	35	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/			/	/	/	/	/	/
50歳～59歳	34	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/			/	/	/	/	/	/
60歳～69歳	23	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		2	/	/	/	/	/	/
70歳～	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		1	/	/	/	/	/	/
70歳～79歳	12	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/			/	/	/	/	/	/
80歳以上	10	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/			/	/	/	/	/	/

愛知県感染症情報

2003年第1週～第8週(平成14年12月30日～平成15年2月23日)(累計)

愛知県衛生研究所

		定点数																									
愛知県		インフルエンザ	小児科	眼科	S T D	基幹	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹
愛知県 (名古屋市を含む)		191	182	35	51	13	44,720	73	1,117	7,881	2,981	116	219	809	6	4	21	11	649	13	102	0	0	4	13	0	0
総数 (名古屋市は除く)		121	112	24	37	12	36,137	56	797	5,301	2,549	86	180	651	3	3	13	8	534	12	75	0	0	4	13	0	0
名古屋	名古屋市	70	70	11	14	1	8,583	17	320	2,580	432	30	39	158	3	1	8	3	115	1	27						
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	2,606	18	64	242	116	1	2	40	1	1	1		69	1	3						
海部津島	津島	7	7	2	2	1	1,285		12	303	120	3	5	31				1	13		2						
尾張中部	師勝	4	4	1	1		1,296		8	352	21	3	5	9			3		3		5						
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	2,561	1	68	601	258	15	18	77	1		1		45	1	2			1			
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	3,972	3	63	317	117	11	11	62	1		2	1	48		10						
	江南	6	6	1	2		1,406	2	29	448	131	8	11	36					27		4						
知多半島	半田	6	6	1	2	1	1,891	3	26	222	70	5	1	43				1	49		7				1		
	知多	7	7	2	2		2,173	5	43	409	153	3	2	46					9		5						
西三河南部	岡崎	11	7	2	2	1	3,968		79	42	356	5	22	71					73	1	8						
	衣浦東部	11	11	2	4	1	5,579	7	87	419	270	3	27	73					75		14			2	1		
	西尾	5	5	1	2	1	1,100	2	46	282	131	2	22	26					26		1			1	1		
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1	2,330	6	34	302	212	3	7	37		2	3	3	62	7	5				3		
	加茂	3	3		1		479		34	117	50	5	1	13					18								
東三河南部	豊橋市	8	8	2	4	1	2,668	9	126	705	257	7	36	47			1	1	5	1	7				5		
	豊川	9	8	1	2	1	2,591		77	540	271	12	10	35			2	1	9	1	2				2		
東三河北部	新城	2	2			1	232		1		16			5					3								

2003年第1週～第8週(平成14年12月30日～平成15年2月23日)(累計)

年齢階層 (名古屋市を除く)	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹
計	36,137	56	797	5,301	2,549	86	180	651	3	3	13	8	534	12	75	0	0	4	13	0	0
～6ヶ月	485		1	53	58		1	39	1				1			/	/	/	/	/	/
～12ヶ月	1,029	3	1	365	157	5	2	409	2		2	1	7			/	/	/	/	/	/
0歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
1歳	3,030	14	20	824	487	24	8	190			5	3	29		2						
2歳	3,060	9	53	553	486	21	18	10					36		1				1		
3歳	3,094	8	79	522	393	8	18				1	1	66		2				1		
4歳	3,223	9	148	465	454	13	26				2	1	107						1		
5歳	2,029	6	154	364	288	3	29						116	1	1		/	/	/	/	/
6歳	1,619	2	136	284	106	7	30	1			1	2	68				/	/	/	/	/
7歳	1,301	1	67	236	38	2	15						35		1		/	/	/	/	/
8歳	1,227	2	40	197	23	1	14	1		1	1		22				/	/	/	/	/
9歳	1,263		31	162	14		7				1		11				/	/	/	/	/
5歳～9歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1	1		
10歳～14歳	4,697		43	387	29	1	9	1					19	1	2				5		
15歳～19歳	1,511		4	119	4								3		4				2		
20歳～	/	2	20	770	12	1	3			2			14	/	/		/	/	/	/	/
20歳～29歳	2,606	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	4	16	/	/	1	1		
30歳～39歳	2,899	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1	15	/	/	1			
40歳～49歳	1,129	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1	8	/	/	1	1		
50歳～59歳	847	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	2	12	/	/				
60歳～69歳	573	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1	6	/	/				
70歳～	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1	5	/	/				
70歳～79歳	336	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/				
80歳以上	179	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/				